

保育内容「表現」における教材研究

—紙芝居・パネルシアター・ペープサートを作って、演じて— (Ⅲ)

井戸裕子

(東京家政大学)

1. 研究の目的

本研究は、日本保育学会第55回大会にて、発表した研究の継続研究である。

保育教材といわれている幼児を対象とした文化財の“紙芝居” “パネルシアター” “ペープサート”を作成し、子ども達の前で演ずることで、保育者を目指す学生が得られることは何なのかについて調査した。

今回は、教材製作をする際にどの教材を選択するのであろうか その選択動機について、予備的な調査を行った。

2. 手続き・方法

この予備的な調査は、保育内容「表現1」の授業内課題の一部である。

調査対象者は、東京家政大学家政学部児童学科3年生167名。

この学生の提出したレポートからの報告で、統計処理による結果は期待していない。

調査日 平成14年5月22日

調査内容

1) あなたは、どの教材を製作することに決めましたか?

2) 選んだ理由は、何ですか?あなたの一番近いものを選択群から選んでください(複数解答可)

3. 結果および考察

1) 調査内容の結果 パネルシアター 100名(60%)
紙芝居 47名(28%) ペープサート 20名(12%)
である。

パネルシアターを選んだ学生が60%半数以上である。

2) 選んだ理由の結果は、表1に示す。

表1. 選んだ理由

		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
パネル	児童	13	1	33	1	39	4	6	4	10	33	2	18	0	8	34	5
	児教	7	1	4	11	18	3	8	4	8	22	6	19	0	14	22	4
紙芝居	児童	0	9	8	0	6	1	5	9	7	9	6	3	3	8	0	1
	児教	0	9	17	0	12	5	1	2	3	17	4	2	0	5	2	2
ペープ	児童	1	0	3	0	4	1	0	0	1	3	3	1	0	1	4	0
	児教	1	0	12	0	7	0	1	1	1	8	3	3	0	6	7	5
児童(小計)		14	10	44	1	49	6	11	13	18	45	11	22	3	17	38	6
児教(小計)		8	10	33	11	37	8	10	7	12	47	13	24	0	25	31	11
合計		22	20	77	12	86	14	21	20	30	92	24	46	3	42	69	17

■ 選択群

- (a)他の人がやっていたのを見て興味がわいたから。
- (b)子どもの頃から身近に感じていて親しみが持てるから。
- (c)一度もやったことがないから。
- (d)以前、やったことがあるから。
- (e)やって(チャレンジして)みたくなかったから。
- (f)絵を描くこと・ストーリーを考えること・演じてみせることが好きだから。
- (g)これならやれる!と思ったから。
- (h)やりやすそうだから。
- (i)材料が年に入りやすいから。
- (j)保育現場で使えそうだから。
- (k)持ち運びが便利だから。
- (l)かわいい・楽しいから。
- (m)製作や準備の時間を考えると適当だと思ったから。
- (n)自分が気に入っている作品を、この方法でやってみたいと思ったから。
- (o)仕掛けや動きに興味があるから。
- (p)子どもと一緒に作って遊べそうだから。
- (q)その他:

* パネルシアターを選んだ理由で圧倒的に多い (e) やってみたい (j) 保育現場で使えそうだから (o) 仕掛けや動きに興味があるから 次いで(c)一度もやったことがないから (l) かわいい 楽しいから

* 紙芝居を選んだ理由で圧倒的に多い (j) (c) 次いで (b) 子どもの頃から身近に感じていて親しみが持てるから

* ペープサートを選んだ理由で多い (c) 次いで (e) (j) (o) である。

* パネルシアター 紙芝居 ペープサート 共通して (j) 保育現場で使えそうだから という理由を選択しているところから保育教材として作るという意味は理解されている。

* (e) チャレンジしてみたくなかったから という理由からは教材製作に対する意欲が伺える。

* (c) 一度もやったことがないから という理由か

らは新しい課題に積極的に取り組む姿勢が感じられる。

* (o) 仕掛けや動きに興味がある と言うのはパネルシアターやペープサートの特性をとらえて選んでいる。

* (b) 子どもの頃から身近に感じていて親しみが持てるから と言うのは紙芝居の教材に特出されている。パネルシアターはまだあまり一般化されていないのではないか。教材説明の時に演じてみせた その時初めてみて感動し、興味がわいて作ってみたいと思った。

* (d) 以前、やったことがあるから と言うのは、パネルシアターだけ選ばれ 紙芝居 ペープサートには選ばれない。

* (p) 子どもと一緒に作って遊べそうだから
ここは、パネルシアター、ペープサート、紙芝居の順に少数ながらえらばれている。 学生が作った教材を子どもたちの前で演じることによって、その子どもたちが自分も作りたい、作ってみたいとの意欲につながりたいとの発想はまだ幼児を対象の実習を体験していない学生には、選択数が低いと考えられる。

* (a) 他人がやっていたのを見て興味がわいたから
パネルシアターが紙芝居やペープサートより圧倒的に多い。紙芝居は、身近で比較的良好に知られている為では、と考えられる。

* (h) やりやすそうだから 紙芝居に多く選ばれている。

* (q) その他：自由記述では、“パネルシアターと迷いましたが、舞台を必要とする点で、紙芝居なら現物のみで演じられるので選びました。”と記述した学生が1名だけいた。

* 選んだ理由を選択群から選んだ数は、1から8までの幅が見られた。

4.まとめ

教材選択動機を調査するまえに、パネルシアター、紙芝居、ペープサート、影絵についてのそれぞれ特徴についてまなばせたのちに、この調査をおこなった。

学生達は、ほぼそれぞれの特徴は理解されていたと思われる。

選択動機と作品の出来具合いとの関連で選択動機の実態分析から教材製作の初期段階での指導者側の学生への指導に役立てることができる。

5.今後の課題

この選択群は、前回発表した短期大学保育科2年生のレポートから抽出したものである。

選択群に5段階評価を導入し、カテゴリ一別に分類することで明確になるのでは？

学生のレポートより

w. rさん “紙芝居を製作している最中も楽しかったけど、演じると、更に楽しさと嬉しさがあった。同じ紙芝居でも、演じる側と見る側それぞれが毎回違う楽しさを見つけられるような気がする。特に演じる側は、対象者を変えると、様々な反応が見られるので良いと思った。今回は絵本からこの紙芝居を製作したけれども、物語や題材作りから全て自分の手で作ったら、より思い入れのあるものになったのではないかと感じた。初めて作った紙芝居を大切にしたいと感じた。”と感想を述べている。

h. sさん “～(中省) 実際に演じてみて改めて自分の作品を見てみるとやはり絵の具がきれいに塗れていなかったり、しみになっていました。きっと実際に子どもの前で演じたら見ている子どもはそういうところが気になってしまうのではないかとおもいます。私は、絵や工作が苦手だと自分の中で思い込み絵の塗方もこれくらいでいいかと適当になっていた気がします。(中省) 物を作ることはまだ私の中で苦手意識は消えないけれど、何かを作り上げた時、自信は倍くらい自分につきます。”と様々な気付きがみられた。

作って、演じることにより学生の自らの気付きを多くするための個人カルテができればと考えている。